

## 事業実績書

団体名	吉敷地区地域づくり協議会
-----	--------------

## 1 地域づくりの活動方針（テーマ）

住民一人ひとりが主体的に地域の中でふれあい、ともに支え合う土壌をつくりあげていくことが重要であり「みんなで支え合う 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」をスローガンに、次の5つの分野に地域課題を整理するとともに、地域としてこれから目指していく将来像を掲げ、課題解決に取り組んでいきます。

- 活動目標1「地域振興」ふれあいと交流による元気で住みよいまち  
 活動目標2「地域福祉」ともに支え合い心豊かに暮らせるまち  
 活動目標3「安心・安全」みんなで協力してつくる安心で安全なまち  
 活動目標4「環境づくり」美しい自然をみんなで守る快適なまち  
 活動目標5「地域個性創出」固有の歴史や文化による個性あふれるまち

## 2 今年度、重点的に取り組んだ視点（事業）

①	視点	コミュニティタクシー制度の導入による旧出張所・公民館跡地活用の検討		
	事業名	コミュニティタクシー導入事業	決算額	70,000円
②	視点	個性豊かで活力のある自立した地域社会の実現のための地域住民による計画策定		
	事業名	吉敷まちづくり計画の策定	決算額	320,997円
③	視点			
	事業名		決算額	

## 3 今年度の重点的視点（事業）に対する評価

検証（成果、来年度以降への改善点等）	自己評価
<p>①ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを進めるために、旧出張所・公民館跡地活用について平成27年度に設置した特別委員会において継続して協議、検討しているもの。</p> <p>こうした中、高齢化の進展により、今後、免許証返納の動きが加速化することが見込まれ、自家用車に代わる移動手段の確保が重要な課題となってきたため、令和3年5月6日に旧出張所・公民館跡地を発着点とした「コミタク良城」の実証運行を開始しました。これまで利用促進のため、新しい停留所の設置などによる運行ルートの変更や、新しい時刻表を作成するなど取り組んできました。</p> <p>また、広報紙「よしき」などで地域住民へ定期的に利用を呼びかけるなど利用促進を図り、令和4年10月から本格運行へ移行しました。</p> <p>同時に発足した吉敷地域コミュニティタクシー運行協議会においては、地元負担を補填する仕組みを検討するなど、今後も地域全体で「コミタク良城」の継続的な運行が行えるよう引き続き、乗車に対する啓発活動を図っていきます。</p>	◎

<p>②吉敷地域は地域づくり協議会・吉敷自治会が策定する「地域づくり計画」と地区社協が策定する「地域福祉活動計画」の両計画を一体的に策定し、「吉敷まちづくり計画」としており、地域住民に分かりやすく団体の活動の円滑な推進を図っています。その計画期間が令和4年度までとなっていることから、「自分たちのまちは自分たちでつくる」の理念のもと、評価・検証や地域課題の収集するために、住民アンケートを実施し、その集計結果を基に新たな課題の洗い出し等のため、活動団体や地域住民のワークショップ等を開催しました。 新しいスローガン「若い世代とともに築く 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」を掲げ、令和5年度から新たなまちづくりを進めていきます。</p>	◎

◎（大変よくできた） ○（概ねできた） △（課題が残った） ×（全く出来なかった）

#### 4 総括

「吉敷まちづくり計画」をもとに、課題解決に向け地域で活動している様々な団体や行政と連携しながらまちづくりに取り組みました。しかし、今年度も、コロナ禍の影響を受け、中止を余儀なくされたものもありました。

その中でも、ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、「よしきフォトコンテスト」では、イベントが少なくなったにも関わらず多くの作品の応募がありました。また、地域ぐるみによる見守り活動の仕組みづくりにも取り組む「ふれあいネットワーク協議会」により、昨年度デザインを更新した一体的な見守りのためのグッズを活用した地域全体での見守りができました。昨年から引き続きコロナ禍の影響を受けましたが、徐々にコロナ感染拡大防止に努めながらの生活に慣れるにつれ「コロナ禍であるからこそできることは何か」を考える機会が多くなりました。そのような中、様々な交流会をはじめスポーツ事業や秋の祭り「吉敷ふるさとまつり」では、実行委員会メンバーにより、感染拡大を防止しながらでもできることを模索することができました。このように、地域住民や地域づくり関係団体の参画による実行委員会は、地域課題の解決に向けての地域住民の話し合いの場となってきています。同様に、様々なスポーツ交流大会や、講演会などもコロナ禍の中で開催することができました。

また、高齢化の進展により免許証返納の動きが加速化することが見込まれ、自家用車に代わる移動手段の確保が地域住民の看過できない課題となっています。そのため、地域住民の意見を把握するために行われたアンケート調査結果を基にコミュニティタクシー運行を検討する「吉敷地域コミュニティタクシー実証運行協議会」を設置し令和3年度に実証運行が開始され、コロナ禍の影響により実証運行期間の延長を経て、今年度10月から本格運行に移行しました。

地域情報を広く地域住民に伝えるために、地域住民と地域づくり関係団体等からの参画を得て設立された広報委員会は、地域の情報の収集や発信に努めながら7年が経過し、この間、地域広報紙やウェブサイトの充実に取り組むとともに、作る側と読む側の双方向で意見交換ができるコーナーを新たに設けるなど、広報紙を手にとっていただけるよう工夫を重ね、取り組みました。地域住民からは一定の評価が得られるとともに、山口県公民館報コンクールにおいては毎年賞をいただいております。今年度は「優秀賞」を受賞しました。

地域の史跡等の案内板設置への取り組みについては、今年度は、肥中街道沿いに一里塚のレプリカを設置するとともに肥中街道を演題とした講演会を開催し、地域の歴史を知るきっかけづくりにも取り組み、多くの地域住民の評価を得ました。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	7,879,490円（交付金5,270,775円） (内自主財源：2,608,715円)
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長1名 事務員3名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 吉敷地域は、地域づくり協議会業務をはじめ、自治会業務、地区社協業務、地区社協が受託する指定管理業務など多岐にわたる業務を4人体制で担っており、事務局員は都度、地域づくり協議会役員と運営や業務について協議しています。また、地域交流センターとも連携した業務を進めることができるように意見交換に努めています。</p> <p>今年度は、コミュニティタクシー「コミタク良城」も10月から本格運行へ移行し、更なる利用促進を図りました。</p> <p>また、地域づくり計画策定については、地域づくり・自治会・地区社協が一体となり、住民アンケートや住民座談会を実施するなど、「自分たちのまちは自分たちの手でつくる」という機運の醸成が図られました。</p> <p>(今後に向けて) 地域づくり活動や地域福祉活動支援など、多岐にわたる業務に事務局長1名、事務局員3名体制で効率的に遂行するため、業務の棲み分けや、事務分担の見直しなどに取り組むことが必要であり、地域づくり関係団体や特に地域交流センターとの連携が重要です。</p> <p>年々業務が増加していることから、事務局の負担も増えるばかりですが、少しでも負担を軽減するため、引き続き、地域づくり協議会役員や地域づくり関係団体と協議・連携に努め、事務局運営を行なっていきます。特に、協働によるまちづくりを推進するためには、事務分担等含め、地域交流センターとは協議・連携しながら行うことが重要と考えます。</p>

(2) 地域振興

事業名	ふれあいネットワーク
事業費	979,189円（交付金879,189円） (内自主財源：100,000円)
事業概要	<p>(実施内容) 吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「ふれあいネットワーク協議会」において、地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動をはじめ、各種イベントや行事等の情報発信、見守り活動から生まれた「ホウちゃん、ベンちゃん」の積極的な活用などに取り組みました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) ふれあいネットワークの活動の一つでもある「あいさつ運動」では、あいさつの日に合わせて登校時間帯に立哨し、地域ぐるみであいさつ運動に取り組むとともに、テーマを定めて標語を募集し、応募のあった標語の中から選出した作品を地域情報紙「ふるさとだよりよしき」に1年間掲載します。また、昨年度更新された一体的な見守りのためのグッズの活用にも取り組みました。</p> <p>(評価) 年間を通して、ふれあいあいさつ運動に取り組むことができました。吉敷地域では「あいさつの日」の立哨箇所工夫を加えながら、活動に参加する人の増加に取り組みました。また、吉敷地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動を総合的に推進する「ふれあいネットワーク協議会」により、地域住民や地域づくり関係団体とで協議・検討することができるようになり、地域内の様々な情報もメールで配信することができました。また、一体的な活動のためのグッズを活用することができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、「ふれあいネットワーク協議会」において吉敷地域の見守り活動を総合的に協議・検討し、必要に応じてグッズの作製に取り組み、見守りグッズを活用した地域の見守り活動を推進します。</p>

事業名	コミュニティタクシー導入事業（旧出張所・公民館跡地活用検討）
事業費	70,000円（交付金70,000円） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 旧出張所・公民館跡地を積極的に活用するために、跡地を拠点としたコミュニティタクシーの運行を検討するとともに、高齢化社会に対応するふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進します。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 地域住民</p> <p>（成果） 高齢化の進展により、免許証返納の動きが加速化することから、自家用車に代わる移動手段としてコミュニティタクシー導入のため昨年度から取り組み、10月から本格運行に移行しました。乗車される方々の意見を集約したり、運行ルートの変更など実施し、乗車率アップに取り組みました。</p> <p>（評価） 跡地を発着の拠点としたコミュニティタクシーのルートに該当する町内会・自治会との連携を取りながら、実証運行に取り組みました。コロナ禍を受け、乗車率が思わしくなく、運行ルートの変更をするなど、乗車率のアップに取り組み、10月から本格運行へ移行しました。</p> <p>（今後に向けて） 運行経費の抑制に係る運行日や運行便数の削減に対する効果や課題を今後も検討していきます。</p>

事業名	夏まつり・ふるさとまつり
事業費	323,852円（交付金251,251円） <span style="float:right;">（内自主財源：72,601円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 夏祭り、秋祭りの開催</p> <p>（実施時期） よしき夏まつり8/13(中止)、吉敷ふるさとまつり11/13</p> <p>（参加人数） 延べ350人</p> <p>（成果） ふるさとまつりのコロナ禍での開催も今年で3回目となり、今年度は交流センター内外で開催することができました。新たな企画にも挑戦することができ、準備など円滑な運営ができました。夏まつりは結果的にはやむを得ず中止となりましたが、直前まで感染拡大の防止に努めながら、どのような形なら開催できるかを検討しました。ふるさとまつりでは、企画を検討する際には、活発な意見が交わされ、新しいアイデアに積極的に取り組むなど、吉敷の祭りに新たな風を吹き込むことができました。</p> <p>（評価） 新たな企画により、多くの参加者とのふれあい、交流が図られるとともに、若い人を集めた企画委員会を中心とした運営を進めるための基盤づくりが確立されつつあります。</p> <p>（今後に向けて） 新たな委員による企画委員会を継続するため、事務局・センターとの役割分担等を検討するとともに、楽しく関われる会にするには委員どうしの交流も必要であるため、その交流にも取り組みます。</p>

事業名	よしきフォトコンテスト
事業費	453,881円（交付金453,881円） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） テーマに沿った写真のコンテスト</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 地域住民</p> <p>（成果） 地域住民や地域づくり関係団体で組織する実行委員会の中では、例年通りイベント等への参加者の増加を図るとともに、より多くの写真の応募につながるよう検討を行いました。コロナ禍の影響からイベントが少なくなったにも関わらず、地域内外から185点の応募作品を集めることができました。応募作品の中から選ばれた作品を掲載したフォトコンリーフレットは、好評で多くの方々に吉敷地域のことを知っていただくとともに地域の魅力を再発見していただきました。引き続き、より多くの地域住民の参加と新たな交流の創出につながるフォトコンテストの開催に取り組みます。</p> <p>（評価） 誰もが気軽に参加できるように、フォトコンテストを広報することで、交流したり、ふれあう人々の写真を広く募集することができました。地域内での交流の場や、地域の四季折々に姿を変える美しい景色を広く紹介するための応募作品などを活用した「よしきフォトカレンダー」の形は地域づくり協議会のウェブ上での紹介に変わりましたが、ウェブサイトでは、閲覧、ダウンロードする人も多く、フォトコンへの興味深さが分かります。カレンダーの作製は取り止めたましたが、受賞者全員の作品を載せたリーフレットは、毎年好評を得ています。応募する人の定着化も見られ、よしきフォトコンが徐々に定着しつつあることが感じられます。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、地域住民や地域づくり関係団体が集まる実行委員会で、誰もが気軽に応募できる「よしきフォトコンテスト」が継続できるように進めていきます。</p>

事業名	人材発掘に向けた交流事業
事業費	173,279円（交付金173,279円） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 地域の人材発掘のため地域交流センターと共催で実施する交流事業について、地域づくり協議会はアクティブエイジを対象に、地域交流センターは若者を対象にした事業をそれぞれ担当しています。今年度もコロナ禍ではありましたが、知恵を出し合い、新たな人事を発掘するための交流会を開催することができました。若者対象の事業については、休耕田を活用した「YOSHIKIわくわくファームらんど」のみスタッフにより開園しました。野菜は不作に終わりましたが、次年度の進め方についても協議する機会を設けました。5年前より将来の地域づくりを担う人材発掘を目的とした「吉敷の近未来を想像し語る交流会」を開催していますが、今年度は地域づくり関係団体と地域で様々な交流活動を実践されている若い世代による交流会を開催しました。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 55人</p> <p>（成果） 交流事業は、地域づくり協議会と地域交流センターがそれぞれ「若者」「アクティブエイジ」を担当しています。今年度もコロナ禍ではありましたが、知恵を出し合い、新たな人事を発掘するための交流会を開催することができました。</p> <p>（評価） 地域づくりを進めていくには、新たな人材を知ることが重要であり、そのきっかけとなる交流事業は地域づくりの中心的な事業の一つです。アクティブエイジの交流事業として地域づくり関係団体と若い世代による交流会の実施や、地域の耕作放棄地等を活用して、農業を体験しながら住民どうしの交流を促進する場を創出する企画については、運営スタッフによる、ジャガイモとサツマイモの植え付けのみ実施しました。次年度も実施に向けた準備を進めるなど、一定の進捗がみられます。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き地域交流センターと連携しながら、地域づくり協議会との事業整理、事業担当等を協議しながら、人材発掘と育成のための事業を進めていきます。</p>

事業名	広報活動
事業費	440,210円（交付金440,210円） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 地域づくり関係団体や地域住民等の参画を得て設置した「広報委員会」により、地域住民に対して発信していきたいことや、お知らせしたいことなどを互いに持ち寄り、広報紙やウェブサイトなどを活用して、地域の様々な情報を発信しました。</p> <p>（実施時期） 通年 （参加人数） 20人</p> <p>（成果） 地域情報を広く収集しながら、魅力ある広報紙の作成やウェブサイトの充実に取り組みました。また、広報紙に新たなコーナーを設けたり、新たな広報委員を募集したりするなど、地域に開かれた広報委員会運営に努めるとともに、町内会・自治会未加入者にも広報紙を手にとっただけのよう配布先の拡大などにも取り組みました。こうした結果、地域住民からは一定の評価が得られるとともに、山口県公民館報コンクールにおいては毎年賞を受賞しています。</p> <p>（評価） より多くの地域住民のもとへ広報紙を届けたいという広報委員の地道な活動により、地域に広く知っていただける広報紙となっています。吉敷地域の魅力を届けたいと、広報委員会では活発な意見も多く出るようになりました。所属する団体から選出された委員が、広報紙の記事を自ら持ち寄ることを各委員が自覚できるように進めていくことが重要と思われます。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、紙面の充実や配布の拡大等に取り組んでいきます。</p>

事業名	人権学習の推進
事業費	115,418円（交付金115,418） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 各種啓発活動に取り組みました。</p> <p>（実施時期） 2月 （参加人数） 地域住民</p> <p>（成果） 偏見や差別のない地域社会の形成を進め、ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを推進するために、幼稚園、小学校、中学校と連携した人権学習の啓発活動に取り組みました。</p> <p>（評価） コロナ禍の影響を受け、例年どおりの活動はできませんでしたが、小学校、中学校との連携により、授業を通して人権の大切さを学ぶ機会を作ることができました。今後も学校等と連携しながら、思いやりのある心を育む人権学習の推進に取り組むことが必要と考えています。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、偏見や差別のないふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりに取り組んでいきます。</p>

事業名	こどもドリームプロジェクト
事業費	0円（交付金0円） <span style="float: right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 吉敷出身のプロサッカー選手である原川力選手の帰山に合わせ、「こどもドリームプロジェクト吉敷～Jリーガー原川力選手によるサッカー教室～」を開催していましたが、残念ながらコロナ禍の影響により中止となりました。</p> <p>（実施時期） 12月</p> <p>（参加人数） 0人</p> <p>（成果） コロナ禍の影響を受け、今年度は実現できませんでした。</p> <p>（評価） 実施することは叶いませんでしたが、次年度に向けて、セレッソ大阪に移籍された原川力選手の代わりとなる選手や他の方法等についての協議ができました。</p> <p>（今後に向けて） 今後も引き続き、地域の子どもたちが夢を持てるように、またふるさと吉敷に愛着が持てるように、吉敷にゆかりのあるプロスポーツ選手やアーティストとのふれあう機会、ふるさとの自然にふれあう機会の創出に努めます。</p>

事業名	ホテル観賞の夕べ
事業費	0円（交付金0円） <span style="float: right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） ホテル観賞を通じて住民の地域に対する関心や愛着を深め、自然環境の保全に対する意識の高揚を図るとともに、幼稚園、保育園、小学校、中学校の子どもたちの発表の場を創出することにより、一層の地域住民の交流を図ります。</p> <p>（実施時期） 6月</p> <p>（参加人数） 0人</p> <p>（成果） 今年度も残念ながら中止となりましたが、次年度に向けて調整することができました。</p> <p>（評価） 吉敷川が貫流する吉敷地域は、県内でもホテルが乱舞する地域として知られており、長い間小学校や地域住民によりホテルの増殖・放流事業を継続し取り組んでいます。そのような中、ホテルを通じて地域への関心や愛着を深め、自然環境の保全の意識の高揚を図ったり、交流によるまちづくりを推進するために、地域ぐるみでイベントに関わることは大変重要なことと思われまます。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、関係団体との連携により、多くの地域住民の参加と新たな交流の創出につながる「よしきホテルの夕べ」の開催に取り組まます。</p>

事業名	動画による活動団体の紹介
事業費	64,000円（交付金64,000円） <span style="float: right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 団体活動動画等の活用による団体活動のPRと拡充を図り、地域住民の参加を広く呼びかけるとともに、参加体験を通して団体活動の拡充に努めます。また、吉敷の美しい自然の移り変わりや地域住民の活動等を動画に残し、地域のPRや地域住民へ広く知らせることでPRに努め、地域への愛着が持てるような企画立案を図ります。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 0人</p> <p>（成果） コロナ禍により活動団体の動画の撮影はできませんでしたが、地域内で吉敷川沿いで咲く桜の様子などを記録に残しました。</p> <p>（評価） コロナ禍により活動団体の動画の撮影はできませんでしたが、季節ごとに咲く花は、その瞬間が大切なことから、日頃からの情報収集などにも努めることができました。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、地域で活動している団体の活動風景を動画に収めたり、美しい地域の風景等を残し、広く地域住民に紹介することで、団体活動の拡充や地域への愛着の醸成に努めます。</p>

事業名	吉敷まちづくり計画の策定
事業費	320,997円（交付金320,997円） <span style="float: right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 安全で安心な住みよいまちづくりを目指し、個性豊かで活力のある自立した地域社会の実現のために地域住民により5ヶ年計画を策定しており、総務・企画委員会を中心に住民アンケートや住民座談会を開催するなどし、新たな計画を策定しました。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 310人</p> <p>（成果） 住民アンケートや住民座談会を実施することで課題の洗い出しを行い、新たなスローガン「若い世代とともに築く 笑顔あふれるまち 吉敷」を掲げた第2次吉敷まちづくりが策定されました。</p> <p>（評価） 当地域の計画は地域づくり協議会、自治会、地区社協が一体となって取り組む計画となっており、今回の見直しについても、当地域の特徴である地域一丸となり取り組むことができました。</p> <p>（今後に向けて） 新たな計画のもと、若い世代を巻き込みながら「自分たちのまちは自分たちでつくる」という精神で、地域の課題解決に努め、住みよいまちづくりに取り組みます。</p>



(3) 地域福祉

事業名	大運動会・多世代交流グラウンドゴルフ大会
事業費	20,165円（交付金20,165円） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 親睦やふれあいを目的とした様々な大会の開催を目指した中、コロナ禍の影響により大運動会は中止となりましたが、親睦ゴルフ大会と多世代交流グラウンドゴルフ大会は開催することができました。</p> <p>（実施時期） 11月・3月</p> <p>（参加人数） 100人</p> <p>（成果） 大運動会は、地域で一番大きな交流の場であり、様々な年齢層の住民の方々が交流を深めるとともに、地区を越えた交流ができる大きなイベントであり、親睦ゴルフ大会も地域住民の交流ができるイベントとなっています。また、グラウンドゴルフ大会は、大人と子どもがチームを組む地域独自のルールで楽しみながらプレイすることが定着し、世代を超えた交流が図られています。</p> <p>（評価） どの大会も新たな参加者を得られるようになってきており、世代を超えた交流ができるようになってきています。今年度も大運動会の開催に向けて、準備や各地区の選手集めを鑑み、コロナ禍の状況等を含めて協議しました。多世代交流グラウンドゴルフ大会については、開催により子どもとの交流や友人との交流を楽しむことができました。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、多くの地域住民が参加しやすい事業となるよう、次年度に向けて準備を進めていきます。</p>

事業名	えがお食堂よしき
事業費	0円（交付金0円） <span style="float:right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 近年希薄となっている地域住民どうしの交流やふれあいの場を復活させ、ともに支え合い心豊かに暮らせるまちづくりを推進します。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 30人</p> <p>（成果） 当地域の事業目的が、地域食堂を通じて孤食を防ぎ、人材（ボランティアスタッフ）の発掘や育成、多くの地域住民が食事を通じた交流を楽しむこととしているため、今年度も残念ながら中止となりました。明日花プロジェクトが実施している「エール弁当配付」の事業には、昨年度に引き続き積極的に参加しました。</p> <p>（評価） 新型コロナウイルスの感染状況等の様子を見ながら、開催できる時期を検討しましたが、今年度も開催できませんでした。エール弁当の配付は、コロナ禍の影響を受けているひとり親家庭と、同じくその影響から需要が落ち込んでいるお弁当屋さんへの支援もできました。</p> <p>（今後に向けて） 地域の温かい気持ち（募金、寄付など）から成り立つこの事業の意図が、無料の食堂として来場している人が多い中、どれだけ浸透しているか。その無料の食堂開設のために、毎月1ヶ月間ボランティアスタッフが活動する意味が見出せなくなる気持ちが大きくなっていることが危惧されていることが、令和元年度からの課題として残っています。今後えがお食堂よしきが再開された際には、広く来場者の皆さんからアンケートを取り、この事業の推進をすべきかどうか等も含め、協議・検討を進めていきます。</p>

(4) 安心・安全

事業名	地域防災体制の充実
事業費	150,008円（交付金150,008円） (内自主財源：0円)
事業概要	<p>(実施内容) 地域広報紙などを活用した防災知識の普及・啓発や防災講演会・学習会などの開催に取り組みました。また、避難に係る防災資機材の整備を進め、交流センターに設置するとともに、広報紙面上に新たなコーナーとして「みんなで防災」を設けることができました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 地区防災会から選出した広報委員により、地域住民に対して活動内容をウェブサイトで紹介したり、自主防災組織等の必要性を伝えてきました。避難時に役立つ防災資機材を展示したり、避難場所での心構えや非常食の試食会など、地域防災事業の推進に努めてきました。令和3年度に広報紙面上に新たな防災のコーナー「みんなで防災」を設け、今年度も地域住民に広く防災に対する啓発活動もできました。</p> <p>(評価) 地域住民に対して防災意識の高揚や防災知識の普及・啓発などを行うとともに、組織内で地区防災会としての避難所運営について行政と協議ができ、一定の事業推進ができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、地域防災体制を充実していくため、各町内会・自治会から選出された防災委員との連携体制などの地区防災会の組織強化を進めていくとともに、地区防災会の果たすべき役割をはじめ組織体制等について見直し検討を始める予定です。</p>

事業名	交通安全・防犯対策
事業費	230,000円（交付金230,000円） (内自主財源：0円)
事業概要	<p>(実施内容) 交通立哨や各種交通安全講座、青パトによる巡回などに取り組みました。うそ電話詐欺防止キャンペーンや防犯パトロール、交通安全教室の開催などに取り組みました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 地域住民に対して、うそ電話詐欺防止キャンペーン、防犯パトロールなどに取り組み、委員が率先して交通立哨などを実施しながら、交通安全や防犯対策等の必要性を伝えてきました。</p> <p>(評価) 地域住民に対して、交通安全やうそ電話詐欺防止への普及・啓発などを行ない、定例的に青パトによる巡回を実施したことにより、地域住民が交通安全やうそ電話詐欺などを普段の生活の中で意識することができました。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、活動を通して地域住民に交通安全・防犯対策等の必要性への周知に取り組みながら、地域の交通安全・防犯対策を進めていきます。</p>

事業名	反射鏡の充実
事業費	0円（交付金0円） (内自主財源：0円)
事業概要	<p>(実施内容) 今年度、実績はありませんでした。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 地域住民</p> <p>(成果) 今年度、実績はありませんでした。</p> <p>(評価) 今年度、実績はありませんでした。</p> <p>(今後に向けて) 引き続き、町内会・自治会を通して地域住民に補助制度を周知しながら、地域の交通安全対策を進めていきます。</p>

事業名	青少年の健全育成
事業費	52,963円（交付金52,963円） <span style="float: right;">（内自主財源：0円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 青少年の健全育成のための見守り活動や各種啓発活動に取り組みました。また、「未来づくり促進特別交付金」による新たな事業「吉敷まるごと博物館”YOSHIKIラッピングミュージアム”」にも取り組みました。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 地域住民</p> <p>（成果） あいさつを通じて、地域住民どうしが顔見知りになるとともに、見守り活動を拡大することから、青少年の安心安全、犯罪の抑制を図ることができました。また、新たな事業については関係する活動団体による実行委員会を設置し、今年度は「吉敷まるごと博物館”YOSHIKIラッピングミュージアム”」を初開催しました。</p> <p>（評価） ふれあいネットワーク協議会の組織の一員として、青少年の健全育成を地域ぐるみで進めることにより、みんなで協力してつくる安心で安全なまちづくりを推進することができました。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、関係団体とともに活動を通じ、連携を取りながら青少年の健全育成のための対策を進めていきます。特に、子ども110番の家の強化を図ります。次年度も「吉敷まるごと”YOSHIKIラッピングミュージアム”」を開催し、地域住民の交流を図ります。</p>

(5) 環境づくり

事業名	環境づくり
事業費	302,002円（交付金290,002円） <span style="float: right;">（内自主財源：12,000円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 環境美化活動の推進と自然環境の保全に取り組みました。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 地域住民</p> <p>（成果） 関係団体との連携のもと、美しい自然をみんなで守る快適なまちづくりを推進することができました。昨年度から取り組んでいる吉敷川河川敷に植栽していたフジバカマも、植栽範囲を広げ旅する蝶のアサギマダラが飛来し、地域住民のみならず、報道等により地域外の人々の目も楽しませることができました。</p> <p>（評価） 関係団体からの課題を見つけ、その解決のために関係団体との連携のもと事業に取り組んだことは、今後も継続して取り組む関係性ができてきたものと思われまます。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、関係団体との連携を強化し、美しい環境づくりを目指しながら快適なまちづくりを推進します。</p>

事業名	ホタル増殖・放流事業
事業費	138,972円（交付金87,340円） <span style="float:right;">（内自主財源：51,632円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 今年度は、学校、地域、行政の連携によりコロナ禍の中でできることを検討し、5月には河川清掃、6月にホタル採取を行いました。10月の「ホタル放流の集い」の式典で、ホタル委員会の児童の飼育活動の発表と俳句の表彰が行われ、その後3ヶ月間良城小学校で飼育したホタルの放流を行いました。</p> <p>（実施時期） 5月～10月</p> <p>（参加人数） 40人</p> <p>（成果） 毎年の活動によりたくさんのホタルが飛び交っていますが、一昨年度、活動を中止した影響からか、今年度飛んでいるホタルの数は少ないように感じました。来年度は、ふるさと川の川にたくさんのホタルの乱舞を期待したいものです。</p> <p>（評価） 地域は学校・子ども・ホタルのために参加し、学校は地域づくりの一翼を担うため開かれた学校を目指し、子どもたちは環境意識を高めるように、それぞれがふるさとへの愛着と命の尊さを学ぶことができることは、改めて有意義な事業だと考えています。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、小学校との連携を強化し、美しい環境づくりを目指します。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	文化振興
事業費	904,298円（交付金893,298円） <span style="float:right;">（内自主財源：11,000円）</span>
事業概要	<p>（実施内容） 地域散策イベントや郷土学習講座の開講、文化財の活用に向けた調査・検討など、文化による地域づくりに取り組みます。今年度は2年ぶりに散策バスツアーを開催することができ、郷土学習会には、地域を超えた参加者も多く好評を得ました。また、一里塚の復元に取り組み肥中街道沿いに一里塚のレプリカを設置しました。</p> <p>（実施時期） 通年</p> <p>（参加人数） 100人</p> <p>（成果） 2年ぶりに散策バスツアーを実施することができました。毎月会議を開き、コロナ禍でもできることを模索し、できることはコロナ対策に配慮しながら実施しました。その他、地域づくり協議会のウェブサイトにて肥中街道の取り組みを掲載するなど広報と整備の充実に努めました。昨年に引き続き、古文書を教材とした「古文書読書会」も開催しました。今年度は肥中街道沿いに一里塚を設置し、文化の保存・継承に取り組みました。歴史的な文化遺産を目で見て認識することができるようになったことの意味は大きいと感じています。</p> <p>（評価） 大内氏の海外通商ルートでもあった肥中街道を演題とした講演会を開催したところ、地域を超えた参加者も多く好評を得ました。地域住民が肥中街道に興味のあることが分かります。また、肥中街道沿いに一里塚を設置し、住民に吉敷地域を散策してもらうための基盤づくりができました。</p> <p>（今後に向けて） 引き続き、多くの地域住民の参加が得られる地域散策講座や郷土学習講座、歴史等散策ツアーの開催などに取り組み、文化による地域住民の交流をさらに進めていきます。</p>